

できていますか？ 緊急時への対策 ②

バンクーバー周辺で、今後50年間にマグニチュード9級の地震が発生する確率は30パーセントといわれている。しかし、以前に大地震を経験したのが300年以上前ということもあって、ブリティッシュ・コロンビア州に住む人々の危機感が足りないというのが現状だ。バンクーバー直下型の大地震が起きた場合、甚大な被害をこうむることは想像に難くない。

バンクーバー市では、家庭内での緊急時対策や家庭内の危険個所のチェックリストなどを作成、災害時への備えの大切さを呼びかけている。また、緊急事態や災害時には救援物資がすぐに届かないことも多いので、少なくとも3日分の食料や水を備えておくことも大切。こうしたチェックリストを元に家族とも災害時の行動について話し合い確認しておきたい。以下の「家庭内での緊急対策10のステップ」

を参照。
バンクーバー市のウェブサイト(英語): vancouver.ca
上部メニューから Home, property and development
を選択→左側のメニューから Public Safety を選択

(取材 大島多紀子 / 資料提供 バンクーバー市)
(*資料はバンクーバー市の許可を得て転載)

City of Vancouver NEIGHBOURHOOD EMERGENCY PREPAREDNESS PROGRAM 家庭内での緊急時対策 10のステップ

ステップ1: 住んでいる場所や職場に潜む危険を確認しましょう
1. _____ 2. _____
3. _____ 4. _____
5. _____ 6. _____
7. _____ 8. _____

ステップ2: 家族の集合場所を決めましょう
集合場所 No. 1: (通りの向こう側など家から近い場所) _____
集合場所 No. 2: (徒歩圏内で、家から離れている場所) _____
外部連絡先:
名前: _____
電話番号 #: _____
携帯電話 #: _____
E-mail: _____

ステップ3: 外部の連絡先リストを確認しましょう
変更があれば、外部との連絡先リストの更新も忘れないようにしましょう。
家族全員が、他の家族についての情報をやりとりできる連絡先を選びましょう。磁石や、財布の中に入れておけるカードに外部連絡先を記入しておきましょう。この番号は電話に登録しておき、家族全員がカードを持ち歩くことが望ましいです。

ステップ4: 応急用具を備えましょう (配布資料『応急用具』参照)

非常時用の備品	家庭用の備品	職場、車用の備品
1. _____	1. _____	1. _____
2. _____	2. _____	2. _____
3. _____	3. _____	3. _____
4. _____	4. _____	4. _____
5. _____	5. _____	5. _____

ステップ5: 水を蓄えましょう
3日分の蓄え (1人あたり、1日につき4リットル):
4リットル(L) × _____ × 3日 = _____
(# 家族の人数) (蓄えの合計)

ステップ6: 家庭での準備を整えましょう (配布資料『家庭内での危険』参照)
家庭での危険を確認しましょう:
1. _____ 2. _____
3. _____ 4. _____
5. _____ 6. _____

ステップ7: 防火設備の見直し (配布資料『家庭内での危険』参照)
春と秋のサマータイム時 火災報知器の電池も確認!
火災報知機の場合(s): _____
消火器の場合(s): _____

ステップ8: 子ども、高齢者、手助けが必要な人への対応を検討する
考慮すること: ○健康状態と必要事項
○学校やデイケアサービスの緊急時対策の確認
緊急時対策で特に手助けが必要な家族:
1. _____
2. _____

ステップ9: ペットの備品リストを作成しましょう。(配布資料『応急用具』参照)
ペット用備品で必要になるもの:
1. _____ 2. _____
3. _____ 4. _____
5. _____ 6. _____

ステップ10: 対策を実践し、最新の状態にしましょう
サマータイムの時計変更などに合わせて、最低でも1年に2回は対策を確認しましょう。

City of Vancouver NEIGHBOURHOOD EMERGENCY PREPAREDNESS PROGRAM 家庭内の危険個所の確認

給湯器 † ・給湯器は壁に固定しましょう。
・詳細は BC ハイドロもしくは専門家に問い合わせましょう。

ガス器具 ‡ ・ガスレンジ、衣類乾燥機などのガス器具はすべて、壁の間柱に固定しましょう。これらの器具が動いたり倒れたりすると、ガス漏れが起こり、爆発が起こる可能性があります。
・長めで柔軟なガス管や、移動するのに十分な長さの電気コードを、有資格者に頼んで入れてもらいましょう。

主な電化製品 † ・冷蔵庫の上下はダクトテープや専用の金属製の留金で固定しましょう。
・固定されていない薪ストーブは業者に連絡し、床にボルトで固定してもらいましょう。

キャスター付きの家具 ・ステレオの台や移動式食器洗い機のような家具は、大変危険です。家電製品にキャスターや金属レールが必要なら、すべったり転倒したりしないよう、車輪を固定するか、前輪の下にくさびをはめ込んで安定させましょう。

高さのある家具 ・書棚や食器棚など不安定な固定されていない家具は、市販されている道具を使って固定しましょう。特に高さ1mを超えるものは、危険です。

重い物 ・重さがあり、壊れやすい、あるいは高価なものは、高い棚やキャビネットから低い場所に移動させましょう。扉のない棚には、中のものが滑り落ちないように木製か金属製のガードレールを設置しましょう。

電子機器 † ・ステレオ、テレビ、コンピューターや電子レンジなどの電子機器は固定しましょう。そうしないと、棚から滑り落ちるかもしれません。
・両面テープやマジックテープで、キャビネットや棚に角を固定しましょう。

鏡や絵画 ・ベッドやソファ、出入口の上にある鏡や、重い額入りの絵画等は他の安全な場所に移動させましょう。

窓 ・窓ガラスは、割れて破片が部屋に飛び散る可能性があります。安全ガラスに変えるか、飛散防止フィルムを貼ることを検討しましょう。
・ベッドは窓から離れた位置に置きましょう。
・窓の近くに吊り下がったランプや植物は、フックの上の開いた部分をロックワイヤーで閉めるようにして固定しましょう。フックは、ねじでしっかりと天井に取りつけましょう。

キャビネット ・キッチン、バスルーム、仕事部屋にあるキャビネットの掛け金が、激しい揺れに耐えられることを確認しておきましょう。キャビネットの扉が勢いよく開かないように、引き戻すタイプか、ハンドルを回すタイプの掛け金に替えましょう。重い物は棚の底に置きましょう。

有毒化学物質 ・壊れやすい容器に入った劇物や有毒物質、溶剤は、高所や危険な場所から、低い場所、通気性のある保管場所やキャビネットのガードレールの後ろへ移動させましょう。緊急時用の水、子どもやペットが届く距離から、離れた場所に置きましょう。

煙突と屋根 ・煙突と屋根の瓦やレンガが浮いていないか点検しましょう。必要に応じて瓦の撤去、取り替えを行い、煙突周囲は補強しましょう。

家の土台 ・一軒家の場合、家が土基盤にしっかりと固定されているか確認しましょう。

設備の電源 † ・ガス、電気、水の電源の場所を確認しておきましょう。漏えいなどの問題に備えて、家族全員が元の電源の切り方を知っておく必要があります。ガス管や水道管がさびたり詰まったりしていないか確かめておき、いずれかに問題があれば、専門家を呼びましょう。とっさの場合に備えてガスメーターの近くにはスパナを備えておきましょう。

地域の危険 ・高架電線や不安定な川岸のような、家の外の危険も確認しましょう。この種の危険には対処しようがありませんが、必ず頭の中には入れておきましょう。

より詳細な情報は、vancouver.ca/nepp へアクセスするか、非常時対策局 (nepp@vancouver.ca) へメール、または **311** へ電話をしましょう。
† Home safety tips involving appliances, water and electricity found at: www.bchydro.com/safety
‡ Home safety tips involving gas found at: www.fortisbc.com